

【件名】中野区デジタル地域通貨事業の実施状況等と今後の取組について

【要旨】

区は、「区内経済・産業の活性化」及び「区の政策・施策の側面的推進」を目的として、令和6年11月から「デジタル地域通貨事業」を開始した。このことについて、令和6年度の実施状況等とこれらを踏まえた令和7年度の取組について報告する。

1 令和6年度の実施状況等

（1）令和6年度の実施状況

- ① 加盟店舗数 1,264店舗（令和7年2月末現在）
 ② ナカペイアプリ登録者数 67,346人（令和7年2月末現在）

ア 居住地別内訳

居住地	割合（％）
中野区	71.9％
杉並区	4.0％
練馬区	2.3％
新宿区	1.8％
渋谷区	0.6％
その他	19.4％

イ 年代別内訳

年代	割合（％）
20歳代以下	11.7％
30歳代	21.2％
40歳代	25.2％
50歳代	23.2％
60歳代	12.2％
70歳代以上	6.5％

③ キャンペーンの実施

ア プレミアム付ナカペイ販売

プレミアム率30%のナカペイを発行した（1セット5,000円で6,500ポイント付与）。

	第1弾	第2弾
申込期間	令和6年10月1日～10月21日	令和6年12月5日～12月25日
販売期間	令和6年11月1日～11月29日	令和7年1月15日～1月31日
申込人数	31,200人	43,494人
最大申込可能 セット数	10セット	6セット ※当選数は最大4セット
販売予定セッ ト数	270,000セット	80,454セット
申込セット数	241,262セット	230,752セット
購入者数	27,074人	20,475人
購入セット数	209,546セット	75,428セット

イ ダウンロードポイントの付与

アプリをダウンロードし、アカウント登録した人にポイントを付与した。

(ア) 500円分のポイントを付与

実施時期：① 令和6年9月20日から令和6年12月4日まで

② 令和6年12月11日から令和7年3月12日まで

500ポイント付与者数：50,380人（令和7年2月末現在）

(イ) 1,000円分のポイントを付与

実施時期：令和6年12月5日から令和6年12月10日まで

1,000ポイント付与者数：12,898人

④ 通常チャージの実施

令和7年3月13日より開始する。

(2) 実施による効果（令和7年2月末現在）

① 利用状況（区内経済効果）

区内加盟店において、約13.6億ポイント（＝13.6億円相当）の利用があった。

利用実績があった店舗数：1,193店舗

※令和7年3月末までに、約15億ポイント（＝15億円相当）まで増加する見込み

② ナカペイポイント利用額（区負担分）

プレミアムとダウンロードポイントの計 約4.2億ポイント（＝4.2億円相当）

※令和7年3月末までに、約4.5億ポイント（＝4.5億円相当）まで増加する見込み

③ その他

・区内小規模事業者（店舗）のキャッシュレス化の促進につながった（ナカペイで初めてキャッシュレスを導入したという店舗も少なくなく、売上アップにつながったという声が寄せられている）。

・デジタルデバイドの一部解消につながった（70歳代以上の利用者数は4,001人）。

(3) 今後に向けて明らかになったこと

・利用者の70%強が中野区民であり、中野区の昼夜間人口を踏まえると、利用者数の増加に向けて、在勤者へのアプローチが必要かつ有効である。

・20歳代よりも60歳代の利用が多く、高齢者会館や区役所での操作説明会を実施した効果が見られた。一方で、20歳代が他の年代と比較して少なく、人口構成として高い割合を占めるとともに、20歳代の在勤者が多いことを踏まえると、利用者数の増加に向けて、若年層へのアプローチが必要かつ有効である。

・日頃から民間Payを利用する方にとっては、操作性の改善を求める声が少なくなかった一方、ナカペイで初めてキャッシュレスポイントを利用する方や高齢の方には、シンプルで使いやすいという声が多かった。

・プレミアム付ナカペイの販売は、申込セット数が多い当選者ほど購入率（当選者に占める購入者の割合）が高い傾向が明らかに窺えた。

・店舗側で使用する売上などの管理画面や機能について、使用しづらいという声が少なくなかった。

2 令和7年度の取組

(1) 地域経済の活性化に向けて

- ① 利用者を増やすための取組（目標：利用者数 10万人以上）
 - ・中野区外住民（在勤者）や20歳代（学生を含む）への情報発信などを強化する。
 - ・ユーザビリティを向上するため、アプリを改修する。
 - ・地上機器を活用したナカペイ広告の検討など、さまざまな機会・媒体を活用して広報する。
- ② 加盟店を増やすための取組（目標：加盟店舗数 2,000以上）
 - ・ナカペイのアンケート機能「使いたいお店のリクエスト」結果に基づき、加盟店を開拓する。
 - ・エリア別や業種別の加盟状況などを踏まえて、加盟店を開拓する。
 - ・ユーザビリティを向上するため、管理画面・機能等を改修する。
 - ・決済音を変更する（現状のコイン音を、子どもの声で「ナカペイ」にする）。
- ③ 地域の経済効果を高めるための取組
 - ・プレミアム付きナカペイの販売 販売計画／流通総額18億円
第1弾：6月申込、7月販売（チャージ）
第2弾：11月申込、12月販売（チャージ）
※今年度の実施状況等を踏まえ、プレミアム率や販売方法を決定する。
 - ・ナカペイの運用データ等に基づく産学官連携による分析や提案、分析結果の経済団体や商店街等への提供
 - ・商店街イベントでのポイント付与（景品、スタンプラリー）
 - ・店舗で利用できるクーポンの発行（2月17日から試験運用中）
 - ・アプリの店舗からのお知らせ機能の利用開始
 - ・ナカペイでしか購入できない商品やサービスの開発誘導・促進

(2) 持続可能な地域通貨事業に向けて

- ① コミュニティポイントの導入、さらなる検討
 - ・健幸ポイントや高齢者会館事業でのポイント付与開始
 - ・令和8年度以降に導入する事業の具体的検討（給付事業への活用を含む）
- ② 歳入確保に向けた取組
 - ・ふるさと納税の返礼品にナカペイのポイント、ナカペイの啓発グッズを追加
 - ・アプリのクーポンやお知らせ機能を活用した広告料徴収の検討
 - ・手数料徴収の対象や条件の検討
- ③ 通常チャージにおけるインセンティブの検討
 - ・チャージや利用時におけるポイント還元を検討

3 その他

令和6年度の実施状況については、実績確定後に、産学官連携を含め、詳細の分析を行うとともに、それらを踏まえて、当事業がより効果を発揮できるよう、事業や取組を検討し、実施していく。